

第5回 草津市隣保館等運営審議会 における議論・意見のポイント

今回（第5回）の審議の目的



前回、説明と一部議論いただいた『3つの議論のポイント』(3)の意見について、もう少しテーマを絞って、あらためて皆様からご意見ご提案をいただきたい。



自主活動事業実施要綱には、「部落解放のための意欲および実践力を養うための自主的ななかまづくり活動」を自主活動事業としています。この目的の達成するために、どのようになかまづくり活動を充実させるかが論点となっております。

「前回にお配りした教育委員会のパワーポイントのスライド資料をもとに、改めてご意見・ご提案をいただきたいと思います。」

③ テーマ③「教育・啓発のさらなる充実」

〈教育委員会〉

・自主活動学級において、仲間づくり活動の充実を図るために重要なこと、必要な取組は何だと思われますか？

○自主活動事業実施要綱にある目的を達成するために、どのような仲間づくり活動が必要だと思われますか？

（また、現在、各会館・センターで取り組まれている仲間づくり活動や部落解放のための取組、他市町等でされている取組についてご紹介ください。）

・もっと多様な人の協力を得ることについて、どのように考えますか？

○上記の活動内容を充実させることと関連する「多様な人」として、地域の方や保護者、専門的な知識を持った人や団体等を挙げています。さらに、ボッチャ等のパラスポーツをする際にはパラアスリート、多文化の料理や遊び等を学ぶ際には外国にルーツのある方など、当事者の方の協力を得られると良いのではと考えております。また、年齢が近く、ロールモデルにもなり得る「教育実習生や教員をめざす大学生」の参画を挙げておりますが、どのように思われますか？

（また、今までに多様な人の協力を得られた事例等がありましたら、ご紹介ください。）

・ロールモデル※となる「地域の支援員」の育成・参画を進めるために重要なこと、必要な取組は何だと思われますか？

○「地域の支援員」の育成・参画を進めるには、中学卒業後の青年層との地域や会館・センターとのつながりが重要だと考えておりますが、どのように思われますか？

（また、現在、進められている「地域の支援員」の育成・参画につながる事例がありましたら、ご紹介ください。）

※ロールモデル…具体的な行動や考え方の模範となる人物のこと。お手本となる人物。

・地域主体の自主活動学級の取組を進めることについて、どのように考えますか？

○「地域主体」の自主活動学級とはどのようなイメージを持たれますか？

○どのような組織や仕組みがあると地域主体の自主活動学級を進めやすいと思われますか？

（教員が主体的に計画・準備・指導等を行うのではなく、教育担当者を中心に、多様な人の協力のもと、より魅力のある自主活にしていくことが、地域の自主自立や活性化につながり、重要だと考えております。）